

だれもが安心してよりそえる街へ

## 「みんなで食べるとおいしいよ」

### いずみワクワク食堂

食事を通してたくさんの人たちのつながりを作り、いっしょに生きるコミュニティづくりをしている子ども食堂。その取り組みは社会福祉協議会が担うべき一端でもあります。泉中央地区社協では、今年度より泉中央地域で活動している子ども食堂「わくわく食堂」「まんぷくキッチン」の2団体を助成することとなりました。今回はその中でも、「わくわく食堂」の活動をご紹介します。



素敵なお弁当の数々



地域住民の居場所として孤食の解消を目的に泉区中央市民センターで、原則偶数月の第二日曜日の昼間、子ども食堂を開催しています。2016年から早七年、コロナ禍で会食することが出来ず、やむなくお弁当の配食に変更し、料理をしなくても良くなった空いた時間を家族との団らんに使ってほしいという思いで、旬の物を彩り豊かに美味しいお弁当を心を込めて提供しています。毎回、約200人の親子連れが来場してくれます。

今、やっとコロナ禍前の生活に戻りつつありますが、今後状況をみながら、会食出来るようになることを願っています。地域の独り暮らしの高齢者の方にも気軽に来場いただき、孫世代と楽しくおしゃべりしながら、昼食を食べていただけたら幸いです。子育ての悩みや世代を超えた遊びを一緒に楽しみ「みんなで食べると美味しいね」と思っていたけたら良いですね。

昨今の物価高騰の折、困窮した世帯への食料支援フードバンク活動も実施しています。フードロス対策の一環として、ご家庭で食べきれない未開封で賞味期限まで一ヶ月以上ある食料品の寄付をお待ちしています。

一度、市民センターに足を運んでみてください。

代表 佐竹洋一

#### 令和5年度事業方針

### だれもが安心してよりそえる街へ

泉中央地区は、長く住み続けたお年寄り、新しく引っ越してきたご家族、外国から来日した学生さん、単身でお勤めの方、退職したご夫婦…、年齢も家族構成も様々な住民が暮らす地域です。その「誰もが」「安心して」「よりそいながら」暮らし続けることができる街をめざして、みんなが知恵を出し合っていこう。そんな願いを込めて、今年度から事業方針を新たにしました。どうぞよろしくお願いいたします。



## 「お友達になりましょう！」

泉中央町内会 紺野 ますみ

私たちの町内で活動している「お茶っこ会」では、軽体操や歌、お花見や本の読み聞かせなど趣向を凝らしたお楽しみ企画を用意しています。今回は陶芸の体験です。参加している皆さんは、お皿、カップ、花入れ…と、ろくろや手びねりで思い思いに粘土を形作っています。表面に葉っぱでペタペタ模様もつけると、「あら素敵！」「この器に何を入れようかな？」。お隣同士、笑顔で会話も弾みます。ちょっと曲がっても大丈夫、先生がきれいに整えてくれます。



参加人数も、ぐんと増えてきました。時には、役員の男性よりお得意の手作りケーキの差し入れがあったり、ハーモニカ演奏を披露してくださる方がいたり、和気あいあい。参加した方々とお友達になって、お茶を飲みながらささいなお話しをするのがこんなにも楽しいとは！

「お茶っこ会」は、毎月第4木曜日、13時から菅間集会所で開催しています。お散歩がてら、のぞきに來ませんか？

## ローズガーデンへおでかけサロン 友愛町自治会 佐々木 光一

6月のサロンは、北中山にある「ローズガーデン」へ花の「寄せ植え」の体験に出かけました。友愛町支部では恒例行事として年間の活動予定に毎年入れています。マイクロバスの送迎付きで美味しいお弁当を出してもらえる事もあって参加者の皆さんから大変好評です。施設側から定員を20名ほどにとのお話がありましたので、今回は21日と28日とに分けて参加希望をとりました。調整により16名ずつのグループに分けました。バラの季節が過ぎていて残念でしたが、「寄せ植え」とお弁当の味には大満足でした。



## ■街の風～編集後記～

市名坂町内会 佐藤 紀子

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ驚かれぬる」古今集にうたわれた“秋”の気配ですが、立秋もとうに過ぎているのに、夏はまだ名残惜しそうに猛威を奮っています。コロナ禍の落ち着きで、外出の機会も増えましたが、まだ紫外線や熱中症の対策は怠らないようにしたいものです。エアコンで温度湿度を工夫して、入浴はぬるめの湯につかり身体を柔らかなタオルで優しく洗い、ゆったりと夏の疲れを流しましょう。

秋は彩り鮮やかな紅葉・黄金色の稲穂のさざ波が涼やかな風に乗ってやって来ます。さあ、秋にバトンを渡しましょう。

